

千葉発 目指せスリーデー！ ウォーキング大会に参加する園児たち



千葉にもウォーキング大会 常連の幼稚園が！

「3年前に初めて年長の子どもたちを佐倉カルチャーウォークで歩かせました。そのとき、完歩した子どもたちよりも父母が頑張ったわが子の姿に感動し涙を流していたのが印象的でしたね。園では音楽を聞かせて教室で歩かせることから、徐々に歩く習慣や脚力がつくように指導し、通園も徒歩でお願いします」（談）



美穂ちゃん自らがウォーキング大会10回に参加して100キロ歩くと宣言。最初は不安に思っていた恵理子さんも、いまでは心から応援している。（南恵理子さん、美穂ちゃん親子）



歩くようになってから旭陽くんが活発元気になったと感じている真由美さん。子どもたちの成長に、母親としての喜びを感じている。（富田真由美さん、旭陽くん親子）



野田明(のだあきら)さん
船橋ひかり幼稚園園長。園では下総江戸川ツーデー、東京国際スリーデーなど4大会を完歩した園児を表彰している。

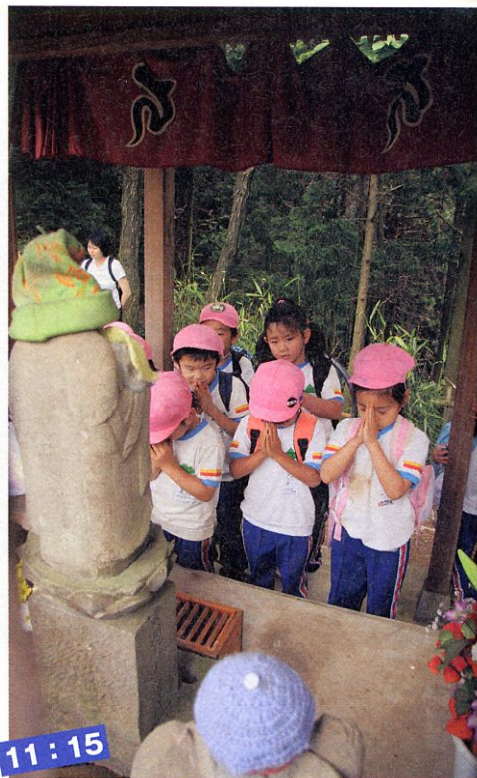
12:30 草の生い茂る山頂近くの広場でお昼。「よくこれだけの山道を、子どもが嫌がらずに歩きますね」と訪ねると、「この子たちは去年は5キロぐらいのコースを歩いていますから。スリーデーにも参加しています。去年もあの男坂を登ったんですが、そのときは泣いてしまう子が5人ぐらいいました。今日は誰も泣かないで自力で登っていたでしょう。それだ

13:30 け成長したなと思つて嬉しかったですね」と田島先生。心からの笑顔でオニギリを頬張る子どもたち。みんなお母さんがお弁当に入れてくれた励ましのメッセージを読む。お弁当の後は草の上を転げ回ったり、シロツメクサで冠を作ったりと楽しそう。山を下る。さすがに疲れが見え始めるが、先生たちの「もう少しだよ」の言葉にひと踏

14:30 ん張り。バスが待つふもとの空き地へ。すぐ足元には清流が流れている。「よし、今日は順調に來て時間があるから、水遊びしよう」という田島先生の発案に、子どもたちの顔が輝く。歓声を上げながら全身びしょ濡れになって川遊び。あれだけ疲れていたように見えたのに、どこにこれだけのパワーが残っていたのか。

15:00 バス出発。行きには歌い続けだった子どもたちも、すっかり静か。見回してみると、半分以上が幸せそうな顔で頭を持たせかけあい、眠っていた。**15:40** 幼稚園到着。お母さんたちが待ち受けている。「今日はよくがんばりました。ずいぶん成長したね」との言葉に、子どもたちも、お母さんたちの顔にも笑みがこぼれた。

①卒園生もよく遊びに来る。中学生の彼女たちも小さいころにこの幼稚園でたっぷり歩いた



11:15 ①北向き地藏にみんなでお参り



12:30 ①待ちに待ったお弁当。笑みがまぶしい



13:30 ①勢いをつけてどンドン下山。少し疲れた…？
②水遊びにみんな夢中。急に元気を取り戻す



14:30